

将来都市像 個性が花開く、ふれあい都市・平塚

20年後のまちづくりを描く

平塚市都市マスタープランがまとまりました。このマスタープランは、おおむね二十年後を展望した将来の平塚市の姿を描き、その実現に向けて都市計画の基本的な方針を示し、都市づくりを総合的、計画的に推進しようとするものです。今後、このマスタープランを平塚市の都市計画の指針にして市民の皆さんと都市づくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

都市づくりの基本理念



平塚の二十年後の将来に向け、住みやすさ、生活の豊かさ、個性の際立つ魅力ある都市とするため、都市づくりの基本理念を、市民とともに、住みやすいまちづくり、自然を活かしたまちづくり、活気あるまちづくりとします。

都市づくりの目標

- 1 都市基盤の整備により、居住環境と防災性の向上を図り、安全で人にやさしい都市づくりを進めます。
2 自然環境と歴史資源など平塚固有の資源を活かし、環境と共生する個性ある都市づくりを進めます。
3 新たな機能の誘導により、快適で利便性の高い都市づくりを進めます。
4 広域連携と交流により、活気ある都市づくりを進めます。

平塚の将来は、都市づくりの基本理念を市民と共有することから始まります。今までの歴史と都市の成り立ちなどの経緯を十分に認識しながら、これらを次の世代に継承し、また、新たな都市を創造することを心がけるために、市民誰もが理解し、共鳴できる都市づくりの目標を掲げます。

個性が際立つ魅力ある都市づくり



平塚市長 吉野 裕成雄

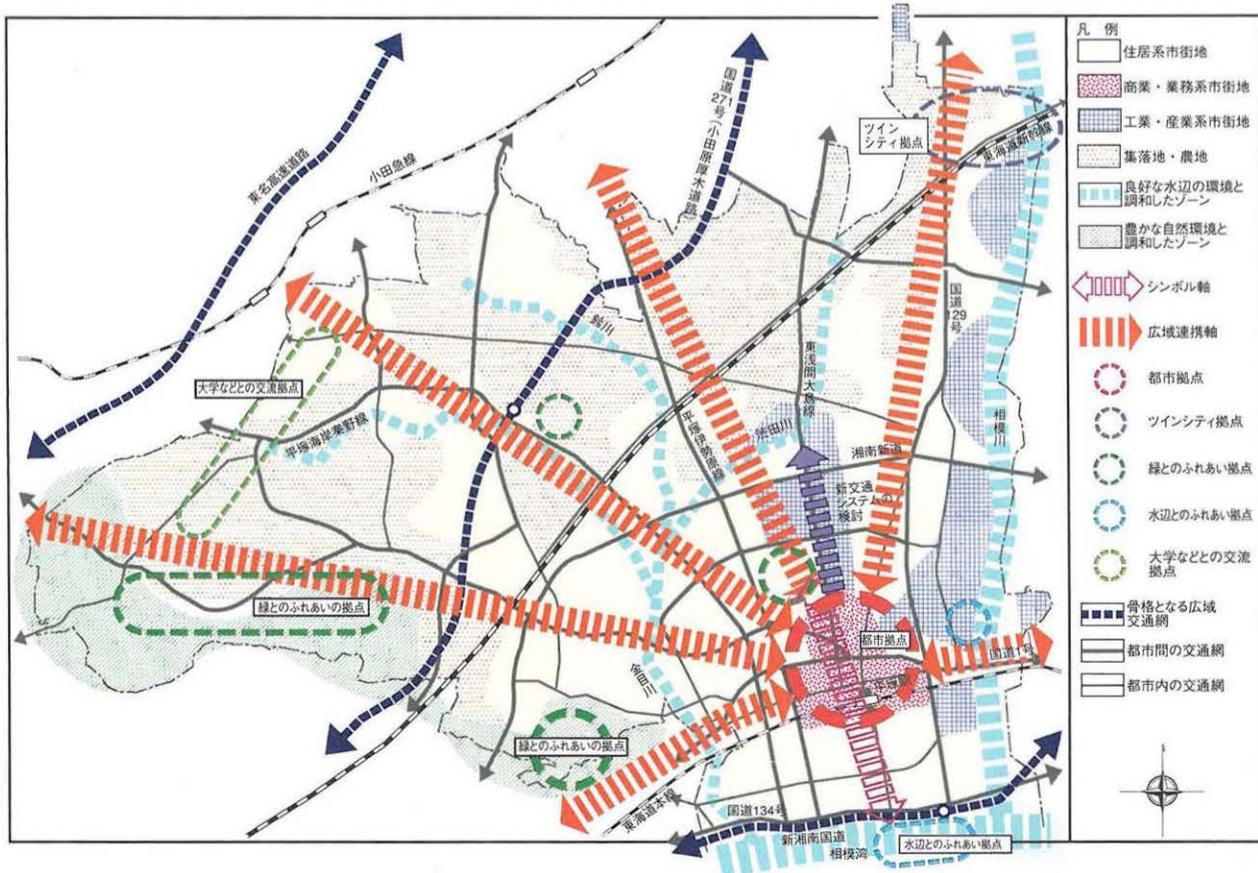
二十一世紀を間近に控えた今日、本市を取り巻く社会経済環境は、右肩上がりの経済成長が終わり、既存システムの見直し、少子・高齢化社会の進展、価値観やライフスタイルの多様化などの変化が急速に進んでいます。これらに適切に対応して、将来に向けて、住みやすく、生活の豊かさが感じられ、個性が際立つ魅力ある都市づくりを推進していくことが求められています。

こうした中で、平成四年に都市計画法の一部が改正され、市町村の都市計画に関する基本的な方針いわゆる都市マスタープランを策定する制度が創設されました。これは、今までのとくく分りづら

いとして、市民の皆様のご意見を反映させ、本市の個性である緑や水辺などの自然資源や歴史資源などを活かして、身近な都市づくりを進めていくものです。この都市マスタープランをまとめるにあたっては、市民を対象としたまちづくりアンケート調査や市民による懇談会などを実施してまいりました。

最後に、多くの貴重なご意見、ご提案を頂きました皆様にご心より厚くお礼を申し上げます。

将来都市構造



(1) 都市拠点の形成

【都市拠点】商業・業務・交通と文化・行政などの都市機能が集積する平塚駅周辺と市役所周辺や見附台周辺を結んだ区域周辺を都市拠点とし、商業環境の充実や多様な都市機能の高度な集積を図ります。
【ツインシティ拠点】JR東海道新幹線新駅ツインシティ構想を受け、平塚市北部の新たな玄関口として、環境と共生した新たな拠点の形成を図ります。
【緑とのふれあい拠点】ゆとりとやすらぎを感じる緑の環境を湘南平や湘南丘陵及び総合公園などに充実させ、文化、研究、交流などの都市機能と調和するふれあいの場の整備による地域の個性化を図ります。
【水辺とのふれあい拠点】自然資源としての平塚海岸や相模川などの水辺の空間は、その環境を保全するとともに、自然とふれあう場として整備を進め、スポーツやレジャー・レクリエーションなど多様な交流を育む都市機能の集積を図ります。
【大学などとの交流拠点】東海大学、神奈川大学などとの連携による学術、文化環境の形成と小田急線東海大学前駅に近接する真田・北金目地域の都市基盤整備を進め、商業、交流などの都市機能の集積を図ります。

(2) 都市軸の形成

【シンボル軸】都市拠点を中心として、南は平塚海岸の水辺とのふれあい拠点と結び、北へは総合公園へ至る南北の都市空間とし、景観に配慮した美しいまちづくりを創造します。
【広域連携軸】近隣都市との連携や交流を促進するため、道路や鉄道などの機能充実を図る広域と連携する軸を放射状及び東西方向のバランスに配慮しネットワークを形成します。

都市づくりの方針

土地利用の方針

◇**住宅地**
 良好な都市基盤を形成している地域は、その居住環境を保全し、茨田川以西などは基盤整備を推進するとともに、低層住宅地、低中層住宅地及び周辺の住宅地と調和した都市型集合住宅地の立地を図ります。

◇**商業・業務地**
 ・平塚駅周辺、市役所や見附台周辺は、商業環境の充実や土地の高度利用を促進し、多様な都市機能の集積を図ります。

◇**工業・研究・流通業務地**
 ・相模川沿いの工業地は、生産環境の維持強化を図り、周辺住宅地の住み混在の解消に努めます。

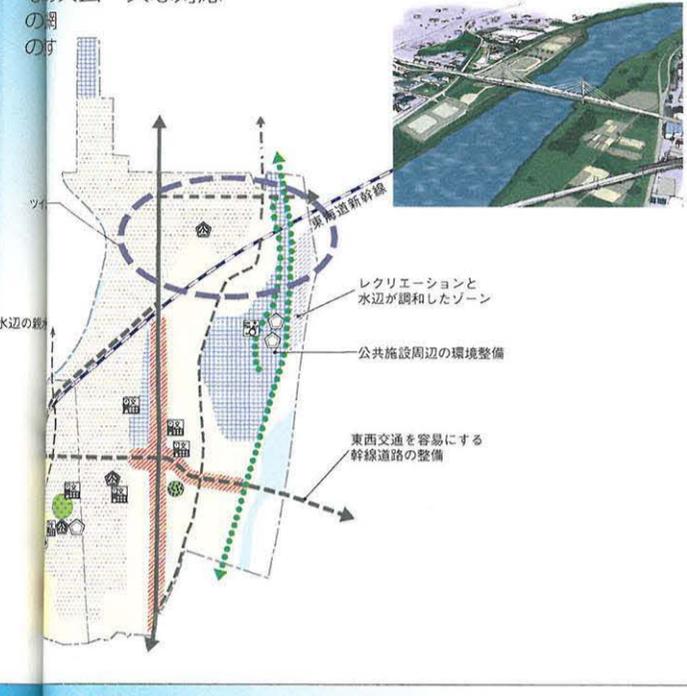
◇**集落地・農地**
 ・市街化調整区域の優良な農地や集落地は、生産環境の維持や保全を図り、集落地の良好な環境を形成を図ります。

◇**地域の魅力づくりの考え方**
 ・JR東海道新幹線新駅ツインシティ構想を受け、平塚北部の玄関口として環境と共生した新たな拠点の形成を図ります

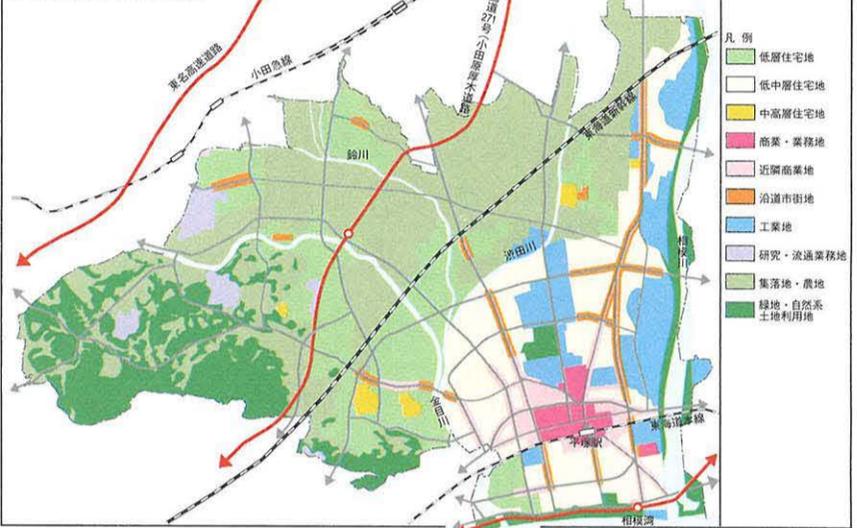
まちづくりの方針

◇**土の考え方**
 ・成長するため、周辺の調和を図るとともに多様な都市機能

◇**交の考え方**
 ・新通アクセスの向上
 ・スムーズな対応



土地利用の方針図

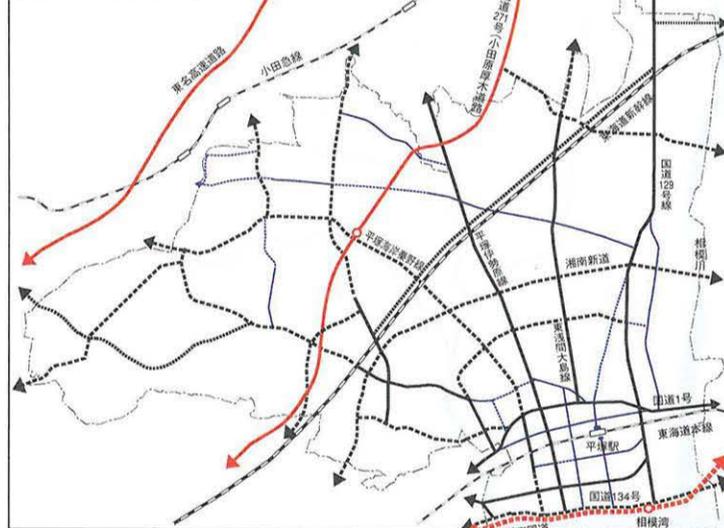


交通体系の方針

◇**緑地・自然系用地**
 ・平塚海岸や相模川、金目川水系の水辺や湘南丘陵の緑地は、自然環境を保全するとともに、ふれあいの場として活用します。

◇**幹線道路ネットワークの形成**
 ・東西の幹線道路や近隣都市間を結ぶ放射状・環状の幹線道路のネットワークを形成します。

交通体系の方針図



◇**幹線道路網の整備**
 ・広域交通需要に対応した首都圏方面への広域幹線道路網の整備を推進します。

◇**公共交通網の充実**
 ・市街地中心部の交通混雑緩和や地域間の連携強化を図るなど災害時でも安全な都市内幹線道路網の整備を推進します。

自然と緑の方針

◇**都市景観の方針**
 ・海川、丘陵などの自然景観や旧東海道などの歴史的空間は、貴重な財産として保全し、中心商業地を取り巻く市街地は、都市のシンボル性を創出する空間として活かすことにより、潤いのある美しい街並みの形成を図ります。

都市景観の方針

◇**主要課題別整備の方針**
 安全で快適な生活環境の確保のため、河川整備や下水道整備を推進するとともに、将来需要に応じたごみ処理施設や火葬場などの都市施設の環境整備を推進します。

◇**都市防災の方針**
 既成市街地やその周辺の市街地の防災環境の改善や都市基盤整備を推進するとともに、工業地周辺の防災環境の改善に努めます。

◇**都市計画のこれから**
 ・都市マスタープランに沿って、市民の理解や計画の熟度を踏まえて都市計画の決定・変更を推進するとともに、地域別のまちづくりは、市民への理解浸透に努め、地域に密着した地区計画制度などの導入を推進します。

◇**協働によるまちづくり**
 ・地域ごとの地区計画の検討など市民主体のまちづくり活動を支援するために、市民、企業、行政がお互いに協力したまちづくりの推進と都市計画やまちづくりの情報提供などの支援に努めます。

◇**都市マスタープランの推進**
 ・都市マスタープランに基づいたまちづくりが計画的に行われるよう、計画の進捗管理や体制整備に努めるとともに、社会経済の変化などによる見直しを市民の意向を把握しながら行います。

◇**都市マスタープランの推進**
 ・市民の理解や計画の熟度を踏まえて都市計画の決定・変更を推進するとともに、地域別のまちづくりは、市民への理解浸透に努め、地域に密着した地区計画制度などの導入を推進します。

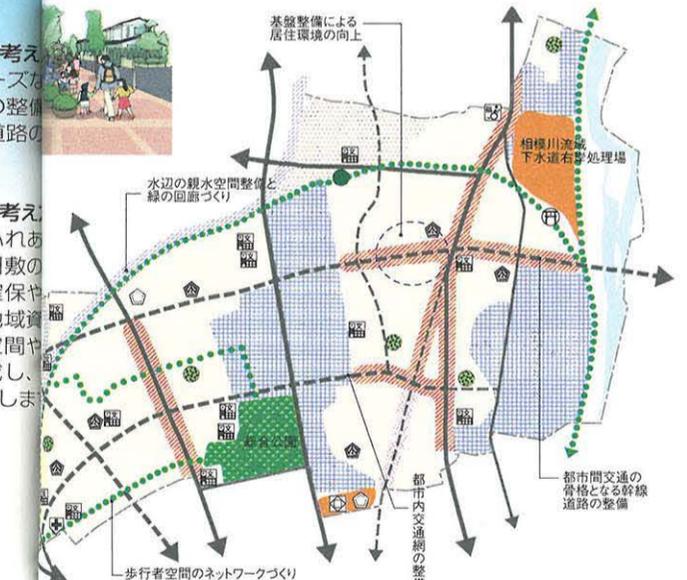
◇**協働によるまちづくり**
 ・地域ごとの地区計画の検討など市民主体のまちづくり活動を支援するために、市民、企業、行政がお互いに協力したまちづくりの推進と都市計画やまちづくりの情報提供などの支援に努めます。

◇**都市マスタープランの推進**
 ・市民の理解や計画の熟度を踏まえて都市計画の決定・変更を推進するとともに、地域別のまちづくりは、市民への理解浸透に努め、地域に密着した地区計画制度などの導入を推進します。

◇**協働によるまちづくり**
 ・地域ごとの地区計画の検討など市民主体のまちづくり活動を支援するために、市民、企業、行政がお互いに協力したまちづくりの推進と都市計画やまちづくりの情報提供などの支援に努めます。

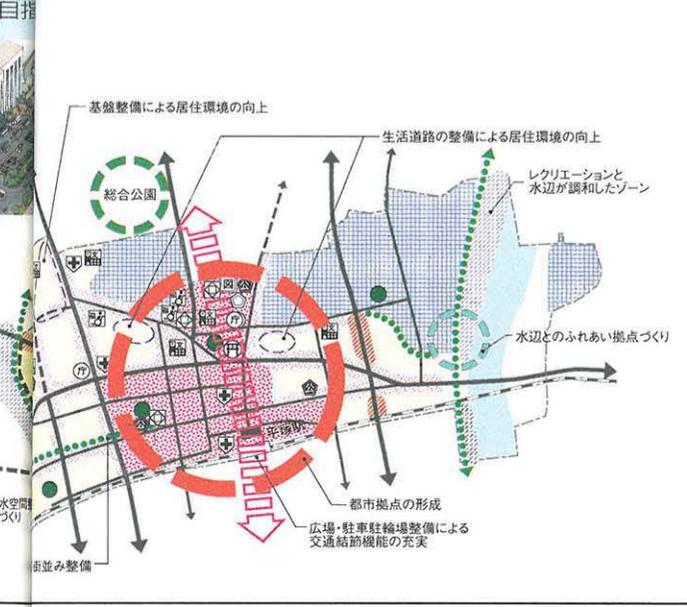
まちづくりの方針

◇**道の賑わいと住宅地が調和するまち**
 ・公園など都市基盤の整備を推進し、沿道の賑わいと調和のとれた利便性の高いまちづくりを目指します。



まちづくりの方針

◇**都市で魅力と活気が感じられるまち**
 ・平塚市拠点として、商業、業務機能の適切な配置による魅力あるとともに、周辺住宅地の都市的利便性の高いまちづくりを目指します。

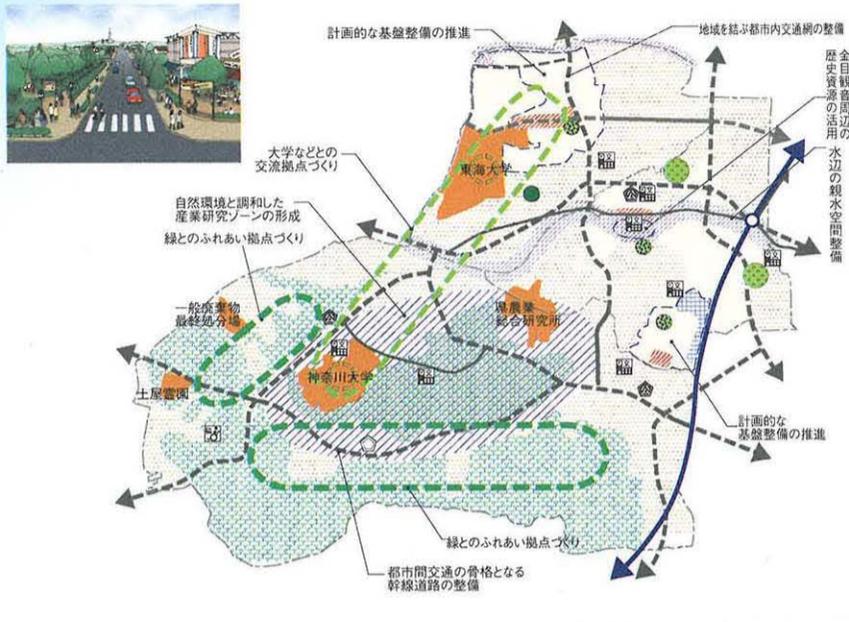


西部地域のまちづくりの方針

目標 地域文化や歴史と恵まれた自然を感じられるまち
 恵まれた自然環境を身近に感じることのできる居住環境を形成するとともに、大学との文化交流や豊かな自然を活かした交流拠点づくりの進んだまちづくりを目指します。

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・良好な居住環境の形成と恵まれた自然環境との調和を図ります
 - ・自然環境と調和した産業研究ゾーンの形成を図ります
- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・地域の発展を支えるために都市間交通の骨格となる(仮)湘南丘陵幹線などの幹線道路網の整備を推進します

- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・東海大学や神奈川大学との交流や地域の歴史や文化の活用による、生活に密着した公共性と商業性を兼ね合わせた複合的なエリアを真田、北金目地区に形成します
 - ・鷹取山周辺から西へ連なる湘南丘陵の豊かな緑と自然環境を活用した親しみとるおいのある新たな交流を育む拠点を形成します

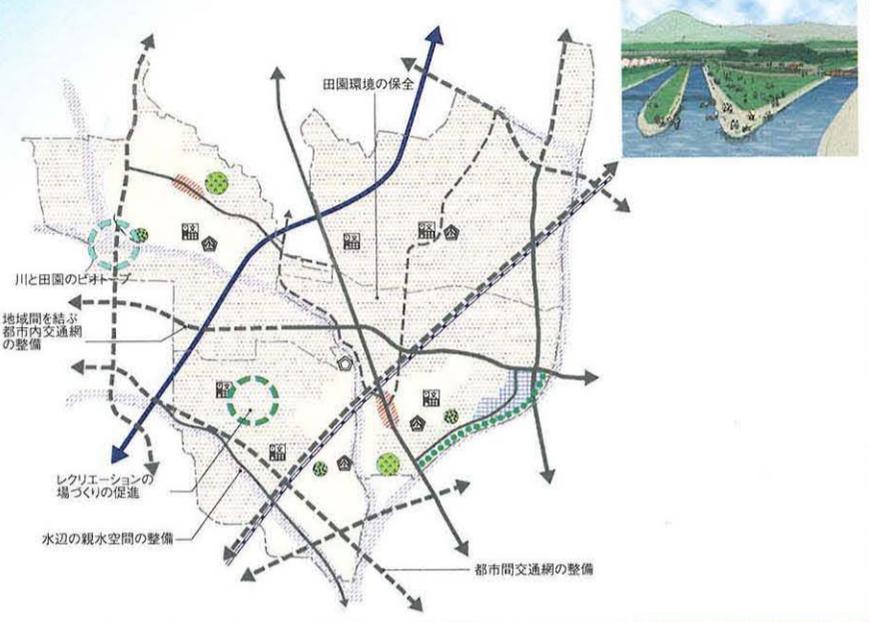


中部地域のまちづくりの方針

目標 緑豊かな田園環境とゆとりある居住環境が形成されるまち
 緑豊かで優良な農地を保全しつつ、水辺との親しみももてる快適でゆとりある居住環境の形成と生活利便性の向上に配慮したまちづくりを目指します。

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・緑豊かな田園環境の保全と調和による良好な居住環境の形成を図ります
- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・東西の地域間交通に対応した幹線道路の整備やバス路線の充実を推進します

- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・県農業試験場の跡地は、市民の手による花と緑の森、レクリエーションの場や地域の防災機能の向上のため、その有効活用を促進します
 - ・動植物の生息が見られる鈴川、大根川、板戸川の三川合流地点は、川と田園のピオトープを活かした緑地空間の形成を図ります



旭地域のまちづくりの方針

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・比較的多く残っている宅地化農地の計画的な宅地化による良好な居住環境の形成を図るとともに、地域に密着した多様な都市機能の集積を図ります

目標 ゆとりある住宅地と魅力ある商業環境が形成されるまち
 都市間交通のスムーズな対応のための幹線道路の整備や商業環境の充実を図るとともに、恵まれた自然環境を身近に感じることのできる居住環境を形成したまちづくりを目指します。

- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・地域の発展を支えるために都市間交通の骨格となる湘南新道などの幹線道路網の整備を推進します
- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・高麗山から湘南平の緑や斜面緑地が醸し出す自然景観を保全し、身近にうらおいの感じられる市街地環境を形成します



東部地域のまちづくりの方針

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・良好な住宅地を形成するとともに工業系市街地周辺の住宅地の純化を図るとともに公園道路沿道の土地の有効な活用を促進します

- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・都市間交通のスムーズな対応のため、湘南新道など幹線道路の整備を推進します

- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・総合公園を緑とのふれあい拠点とし、相模川河川利用による緑地の確保、川の親水空間など地味を活用した、歩行者空間ネットワークを形成し、ゆとりある都市空間を創出します

地域別まちづくりの方針

- 凡例
- 住居系市街地
 - 商業・業務系市街地
 - 近隣商業地
 - 沿道系市街地
 - 工業・産業系市街地
 - 集落地・農地
 - 大規模公園
 - 緑地・自然系土地利用
 - 大規模公共・公益施設
 - 自動車専用道路
 - 自動車専用道路(未整備)
 - 幹線道路
 - 幹線道路(未整備・構想)
 - 補助幹線道路
 - 補助幹線道路(未整備・再整備)
 - 地区公園(計画)
 - 近隣公園
 - 近隣公園(計画)

南部地域のまちづくりの方針

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・住宅地の良好な居住環境の維持保全を図ります
 - ・地域商店街の買い物環境の向上を図るとともに平塚駅周辺の商業機能の集積を図ります。
- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・東西の広域的な交通需要に対応するため、新湘南国道などの整備を促進します
 - ・南口広場は、駐輪場や駐車場の整備を検討し、海へのネットワークにふさわしい広場整備を推進します。
- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・南口広場から平塚海岸へつながる空間は、松の緑を活かした街並みや水辺のイメージを街に取り込むなど魅力ある都市空間を創造します
 - ・ビーチパークから新港周辺は、漁港の多目的利用や連続した総合的な整備を推進し、広域的なレクリエーション拠点づくりを図ります

目標 落ち着いた居住環境と水辺の賑わいが調和するまち
 落ち着いた居住環境の維持や平塚海岸の自然の保全に努め、ビーチパークから新港周辺の水辺の賑わいや緑豊かな環境を身近に感じられるまちづくりを目指します。



中心地域のまちづくりの方針

- ◇土地利用の基本的な考え方
 - ・住居系、商業系、工業系、それぞれ土地利用の純化を図るとともに、平塚駅周辺における土地の高度利用を促進します
- ◇交通体系の基本的な考え方
 - ・平塚駅における交通結節機能の充実や駐車・駐輪場の整備を図るとともに、平塚の顔として魅力ある広場整備を推進します
- ◇地域の魅力づくりの考え方
 - ・平塚駅を中心とした商業、業務、交通などの都市機能と文化・行政施設の集積する市役所や見附台周辺は、賑わいのある魅力と活気を感じられる都市空間づくりを進めます
 - ・旧東海道である東海道本通り周辺は、歴史を感じさせる街並みづくりを推進します。
 - ・相模川河川敷周辺の有効利用を図り、市民が憩えるスポーツ広場などの整備や緑化の推進による広域的なレクリエーション拠点づくりを図ります

緑の基本計画は、平成6年の都市緑地保全法の一部改正を受け、市町村において「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として定めることになったものです。

平塚市の目指す都市の姿である「きらめく海、緑の丘、創造とうるおいの湘南の都市ひらつか」に向け、海、川、丘陵、田園などの恵まれた自然環境と市街地内の緑地や緑化について、総合的かつ計画的に保全、整備、創出するための指針として、21世紀におけるゆとりと豊かさの実感できる都市環境づくりを目的に、都市マスタープランの「自然と緑の方針」を受けて「平塚市緑の基本計画」を策定しました。

『緑の基本計画』

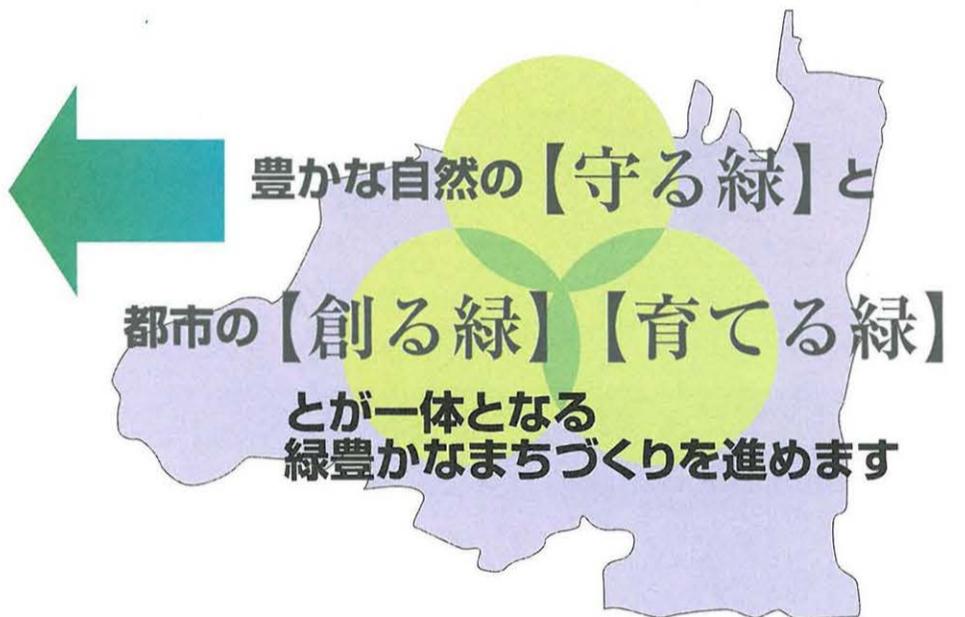
基本理念

平塚市のシンボルである湘南の海、豊かな相模川の流れ、緑の湘南丘陵、のどかな田園などを保全するとともに、平野部などの市街地では、公園、緑地及び緑道等の公共緑地と民間施設の緑化により新たな緑地の積極的な創出を図り、将来にわたり花と緑豊かな環境を形成するため、「平塚市緑の基本計画」の基本理念を次のように定めます。

基本方針

基本理念をもとに、緑の将来像を実現するため、平塚市の特性をいかした計画の基本方針を掲げます。

- 快適な都市を目指し、海と川と丘陵、田園の緑を効果的に街に取り込みます。
- 活気ある都市を目指し、湘南の中核都市にふさわしい街の性格を明確に示す緑地を配置します。
- 住みやすい都市を目指し、うるおいと温もりを感じる緑地を配置します。
- 魅力ある都市を目指し、ウォーターレクリエーションを展開するために海(相模湾)と川(相模川など)の交差点の特性を活かした緑地を配置します。
- 安全な都市を目指し、地震や災害時に効果を発揮する緑の回廊の形成を図ります。
- 美しい都市を目指し、風土と調和した緑の保全と街を彩る花と緑を配置します。



緑の将来像図



緑地の目標

都市公園のほか農地や樹林地を保全し、河川や緑地を維持することにより、市域の約36%の緑を保全・確保することを目標とします。

都市公園の面積は、身近な公園や緑地の整備と総合公園などの大規模な公園の整備などにより、市民一人当たり約14㎡を目標とするほか、公園内や公共公益施設などでの植樹を進め、樹木本数を市民一人1本を目標に緑化を推進します。

緑の基本計画の問い合わせは、
みどり公園課花とみどりのまちづくり担当へ
TEL 23-1111 内線425・591